

#### ④ 水道をひろげる計画

桑折町ではさらに水道を広げるために、<sup>すりかみ</sup>摺上川から水を引いてくる計画を進めています。

この計画は桑折町だけで行うのではなく、「福島地方水道用水供給企業団」とい<sup>きょうきゅうきぎょうだん</sup>い、福島市、伊達郡9町、安達町、東和町の1市11町で組織された団体が、計画をたて、工事を行っています。

摺上ダムは平成13年に完成の予定です。この事業には、約940億円の費用がかかり、完成すれば約55万人の人たちに1日最大23万トンの水を送ることができるようになります。

桑折町でも1日約5千6百トンの水が利用できるようになります。

摺上ダム完成後の供給計画

構成市町名	1日最大給水量		構成市町名	1日最大給水量	
	平成16年度	平成27年度		平成16年度	平成27年度
福島市	109,830m <sup>3</sup> /日	161,355m <sup>3</sup> /日	月舘町	580m <sup>3</sup> /日	1,674m <sup>3</sup> /日
桑折町	3,490	5,580	川俣町	790	2,790
伊達町	4,290	6,882	飯野町	1,070	2,604
国見町	4,250	6,045	安達町	1,610	4,278
梁川町	7,450	16,275	東和町	1,560	2,604
保原町	12,120	17,205			
霊山町	2,880	4,278	計	149,920	231,570

(福島地方水道用水供給企業団資料より)

#### ⑤ 水が家庭にとどくまで (本管のパイプから家庭のじゃ口まで)

町では、人々がいつでも水道を利用できるように、工事などをして使いやすくする努力をしています。下の写真のように、水はさまざまなパイプを通り家庭にとどきます。



本管工事



本管と家庭をつなぐ



家庭のじゃ口へ